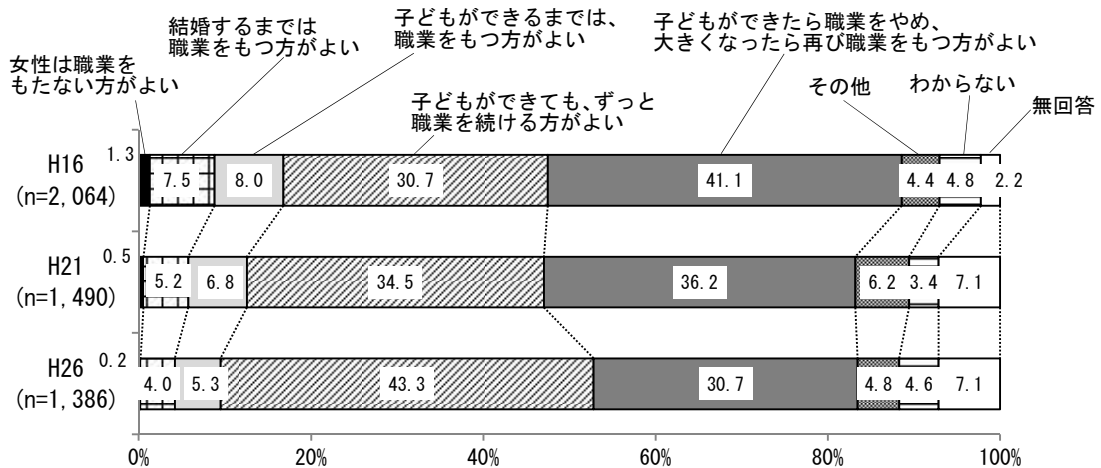


4. 女性の就労について

(1) 女性が職業をもつことの理想

問9 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○印は1つ)

【図表 9-1 女性が職業をもつことの理想】



◆「子供ができて、ずっと職業を続けるほうがよい」が最高に

女性が職業をもつことの理想について、「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」が43.3%と最も高く、次いで「子どもができれば、職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(30.7%)、「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」(5.3%)などの順となっている。

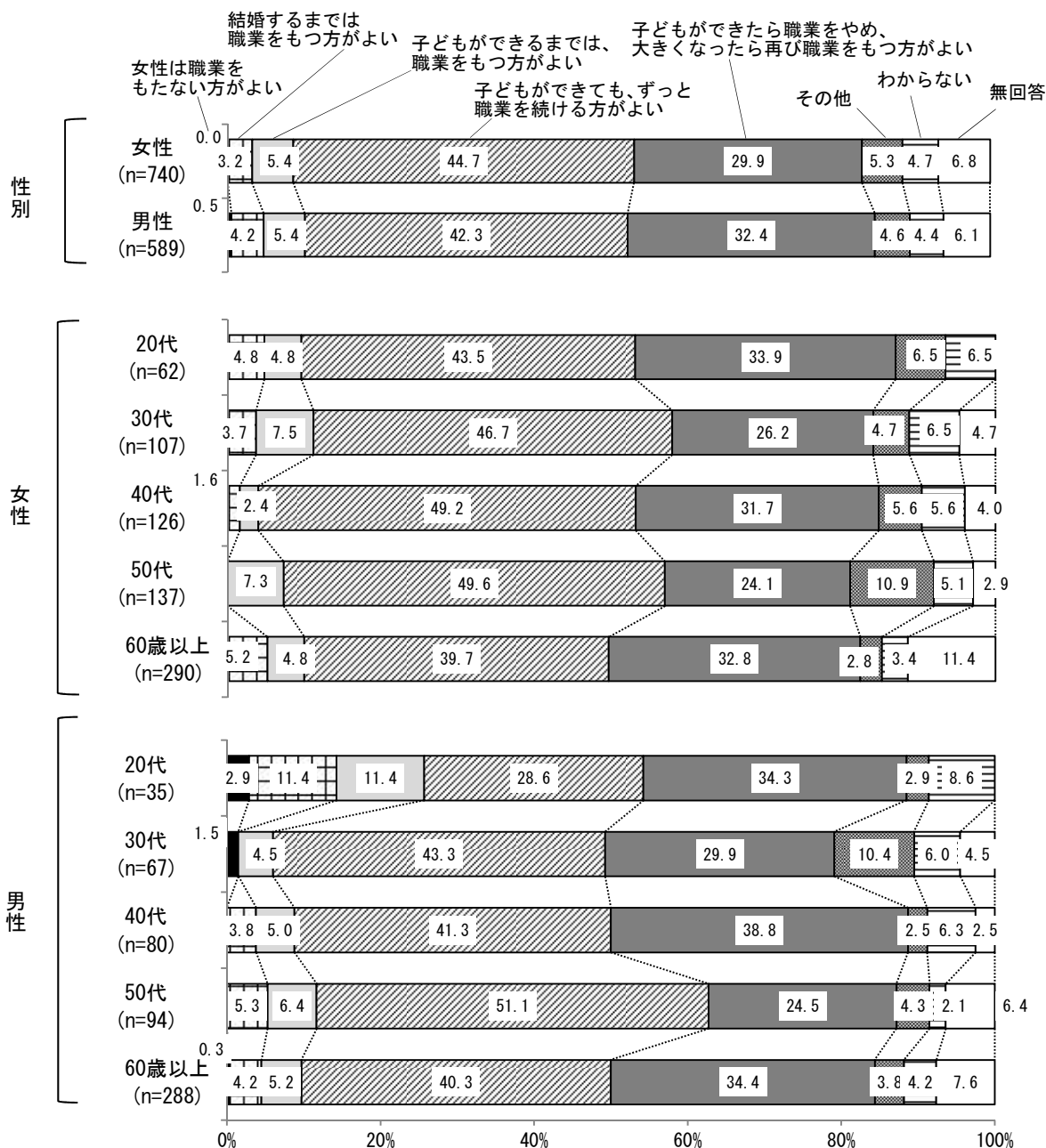
「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」は年々上昇傾向にあり、H21年調査と比べると、8.8ポイント上回っている。

<性別、性・年齢別>

性別にみると、男女ともに「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」などの順となっている。

性・年齢別にみると、男性 50 代では「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が 5 割を超えている。

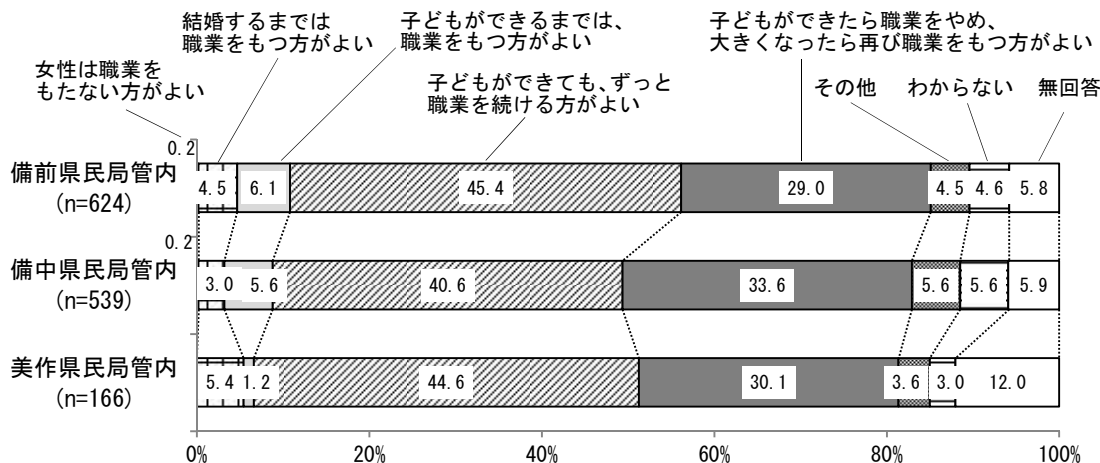
【図表 9-2 女性が職業をもつことの理想（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

すべての地域で、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が4割を超え最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が3割前後となっており、大きな差はみられない。

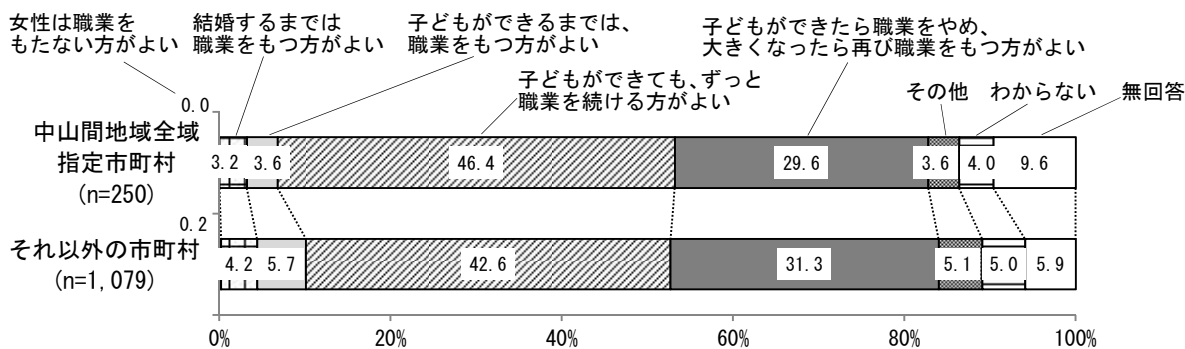
【図表 9-3 女性が職業をもつことの理想（地域別 1）】



<地域別 2>

いずれの地域も、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が4割を超え最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」などの順となっており、大きな差はみられない。

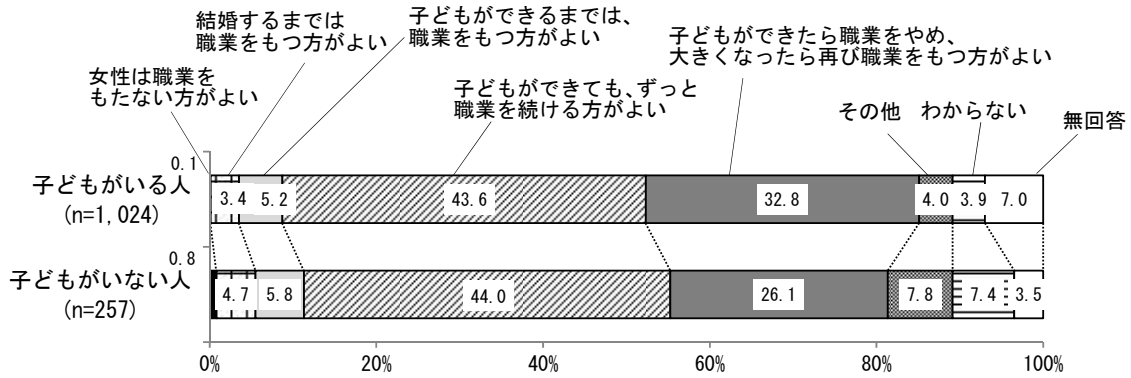
【図表 9-4 女性が職業をもつことの理想（地域別 2）】



<子どもの有無別>

「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は子どもがいる、いないに関わらず、最も高くなっている。また、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は「子どもがいる人」が32.8%となり、「子どもがいない人」(26.1%)を6.7ポイント上回っている。

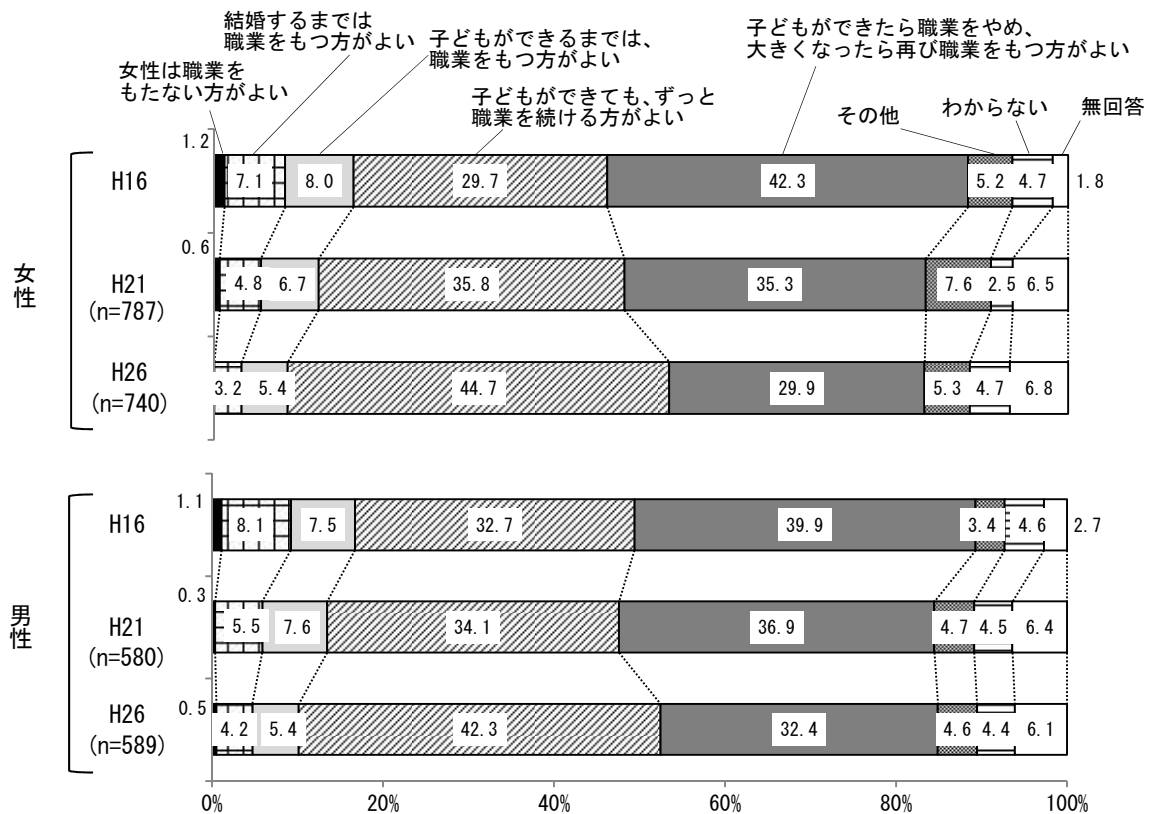
【図表 9-5 女性が職業をもつことの理想 (子どもの有無別)】



<前回調査との比較>

H21年調査と比べると、男女ともに「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が上昇し、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が低下している。

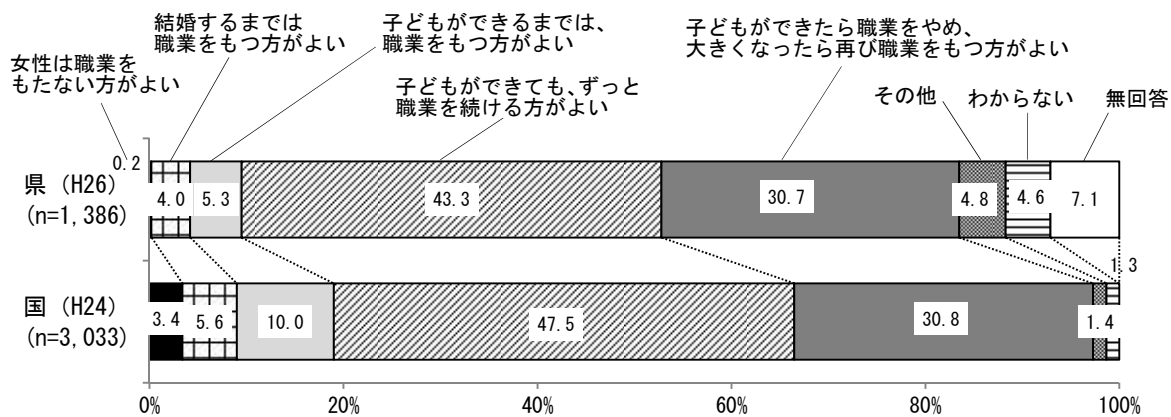
【図表 9-6 女性が職業をもつことの理想 (性別、前回調査との比較)】



<国調査との比較>

国調査と比べると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が4割を超え最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」となっており、大きな差はみられない。

【図表 9-7 女性が職業をもつことの理想（国調査との比較）】

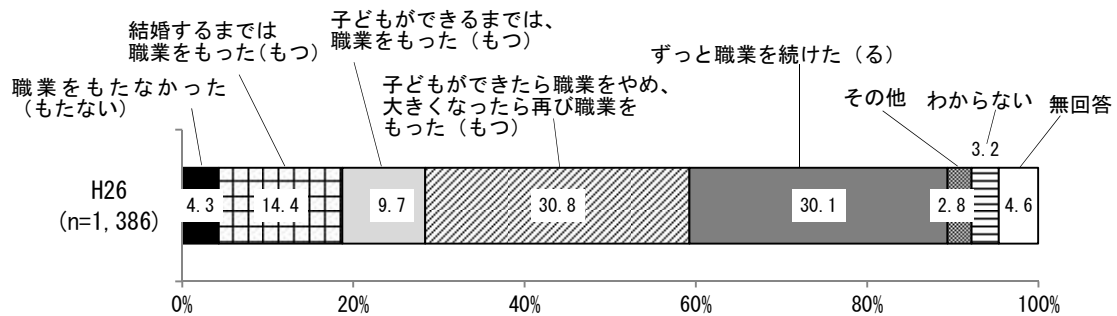


(2) 女性の就労状況

問 9-1 女性が職業をもつことについて、あなたの現実にあてはまるもの（あてはまると予想されるもの）はどれですか。（○印は1つ）

※男性の方は、配偶者の働き方など、ご家庭での状況で現実にあてはまるもの（あてはまると予想されるもの）をお答えください。

【図表 9-1-1 女性の就労状況】



◆「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもった(もつ)」、「ずっと職業を続けた(る)」が高い水準

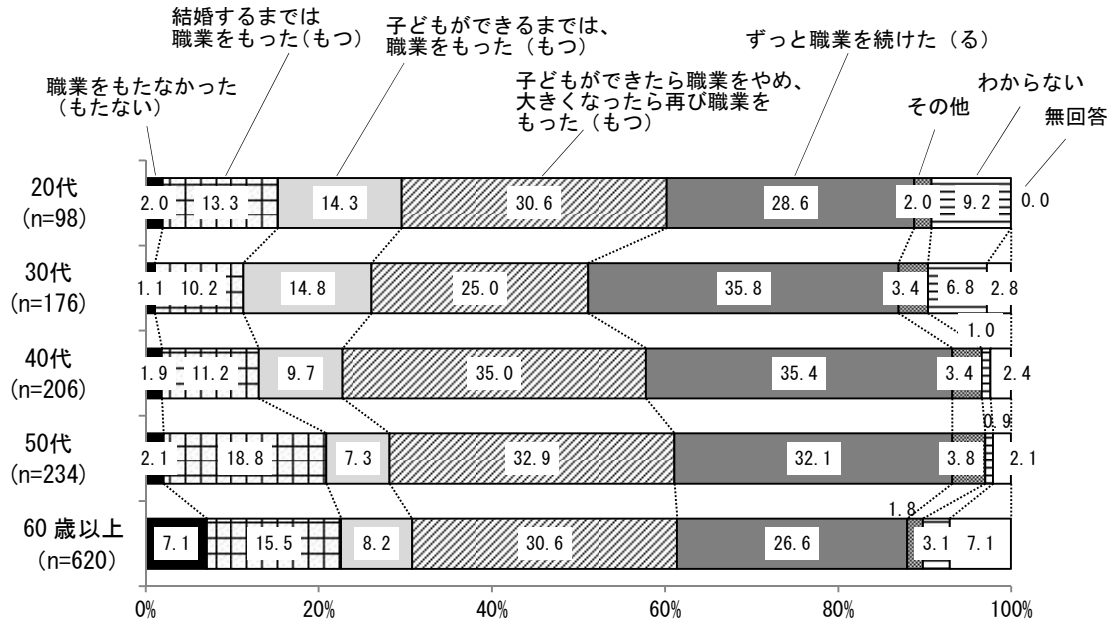
女性の就労状況について、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもった(もつ)」(30.8%)、「ずっと職業を続けた(る)」(30.1%) がともに3割を超えている。

一方、「職業をもたなかった(もたない)」(4.3%)、「結婚するまでは職業をもった(もつ)」(14.4%)、の割合は全体の2割程度である。

<年齢別>

年齢別にみると、20代を除き年齢が上がるにつれて「ずっと職業を続けた（る）」の割合が低くなっている。

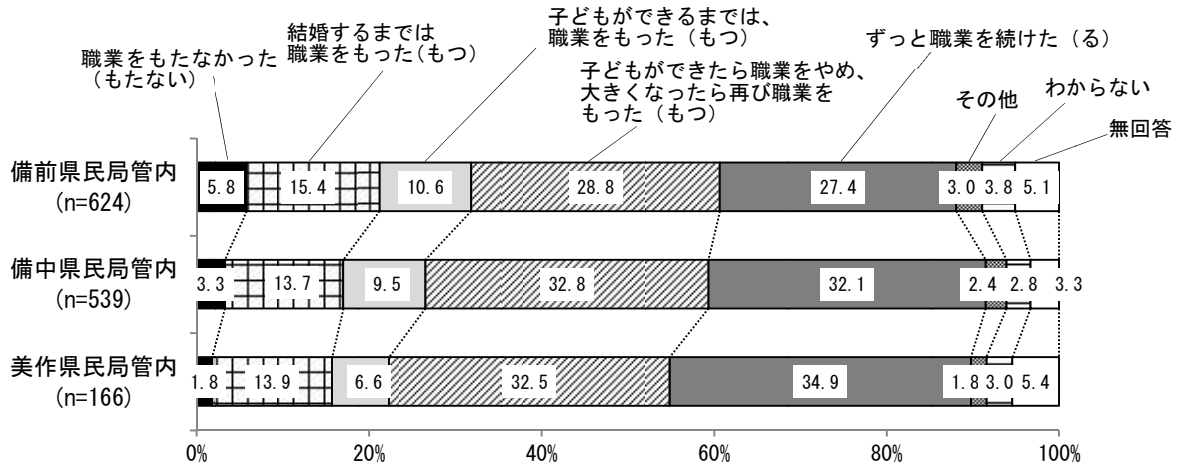
【図表 9-1-2 女性の就労状況（年齢別）】



<地域別 1>

備前県民局管内、備中県民局管内は「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもった（もつ）」、美作県民局管内は「ずっと職業を続けた（る）」が最も高くなっている。

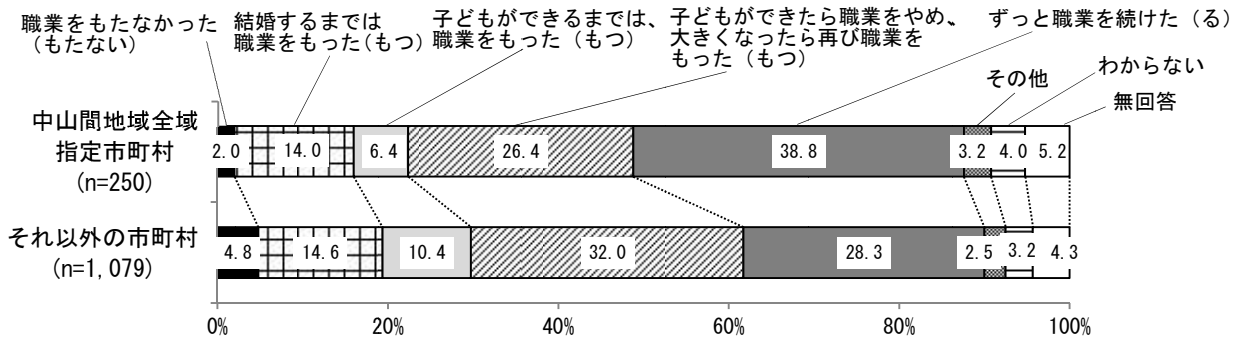
【図表 9-1-3 女性の就労状況（地域別 1）】



<地域別 2>

中山間地域全域指定市町村は「ずっと職業を続けた(る)」、それ以外の市町村は「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもった(もつ)」が最も高くなっている。

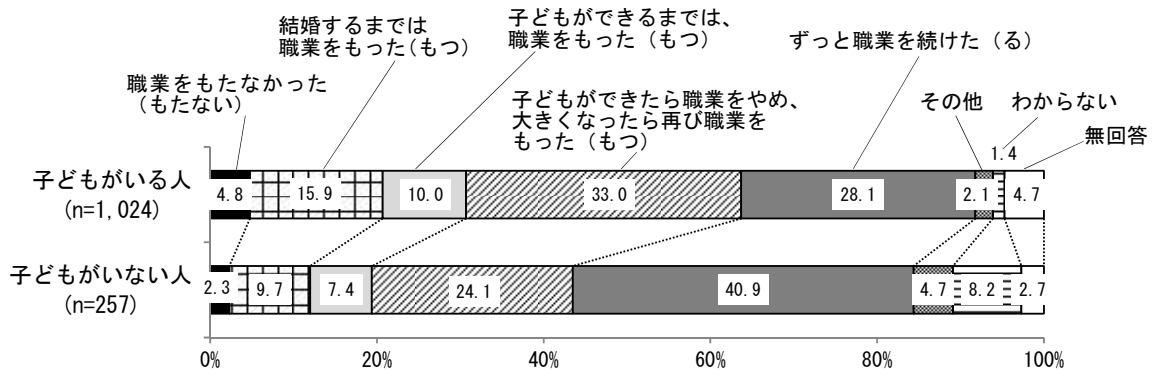
【図表 9-1-4 女性の就労状況（地域別 2）】



<子どもの有無別>

「子どもがいる人」は「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもった（もつ）」(33.0%)、「子どもがいない人」は「ずっと職業を続けた（る）」(40.9%)が最も高くなっている。

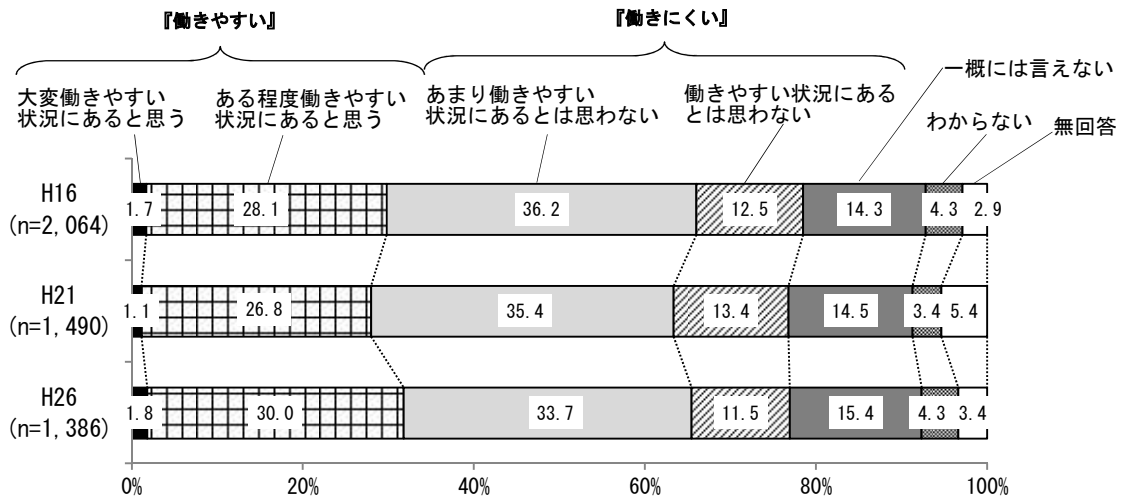
【図表 9-1-5 女性の就労状況（子どもの有無別）】



(3) 女性の就労環境の現状評価

問 10 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。(○印は1つ)

【図表 10-1 女性の就労環境の現状評価】



◆ 「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」が最も高い

女性の就労環境の現状評価について、「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」が 33.7%と最も高く、次いで「ある程度働きやすい状況にあると思う」(30.0%)、「一概には言えない」(15.4%)などの順となっている。

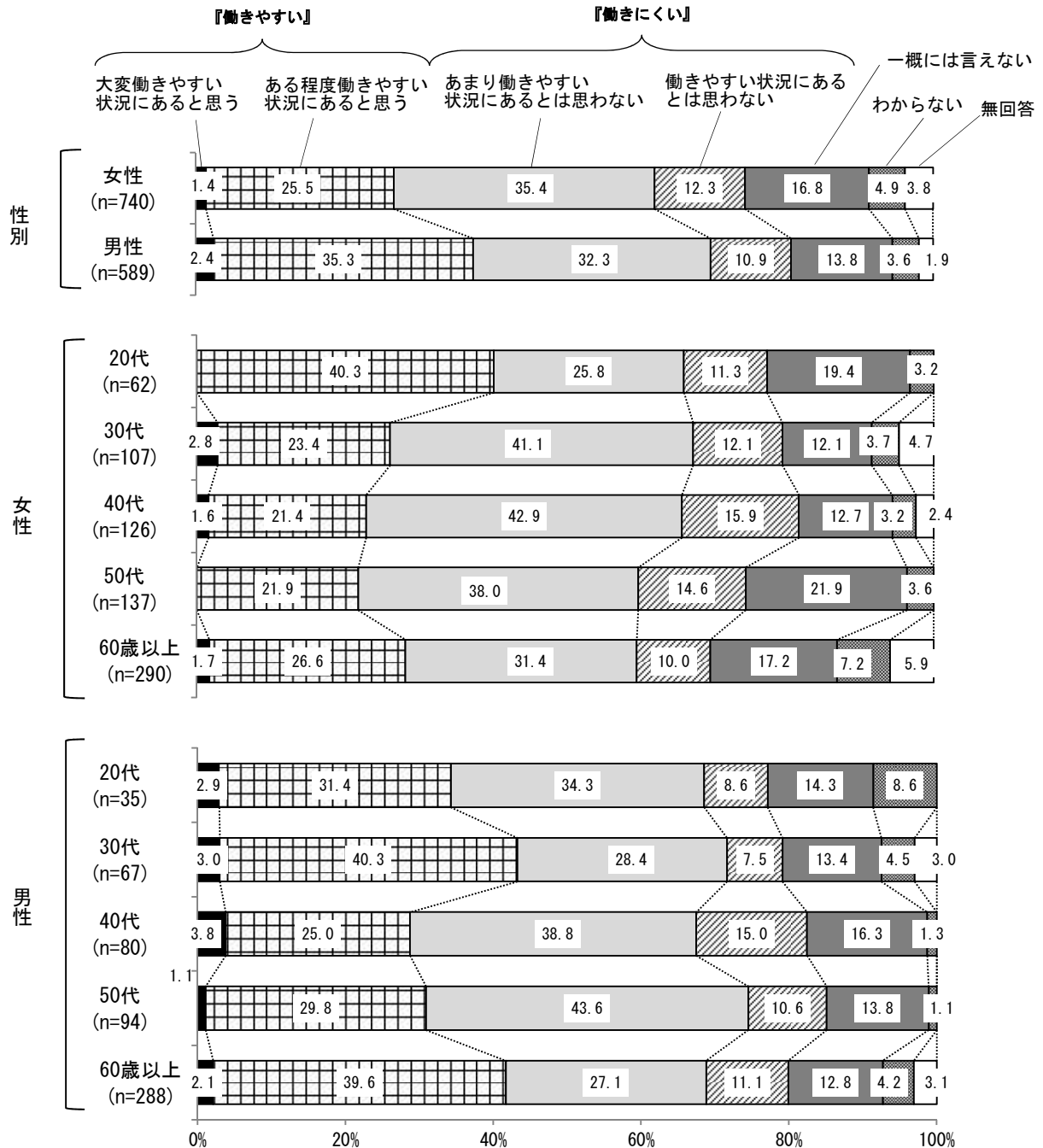
『働きやすい』(「大変働きやすい状況にあると思う」と「ある程度働きやすい状況にあると思う」を合わせた割合)は、H21 に比べて上昇している。一方、『働きにくい』(「働きやすい状況にあるとは思わない」と「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」を合わせた割合)は、H21 年に比べて低下している。

<性別、性・年齢別>

性別にみると、『働きにくい』は女性（47.7%）、男性（43.2%）と最も高くなっている。

性・年齢別にみると、女性20代、男性30代、60歳以上は『働きやすい』が4割を超えている。また、女性30代から50代、男性40代、50代は『働きにくい』が5割を超えている。

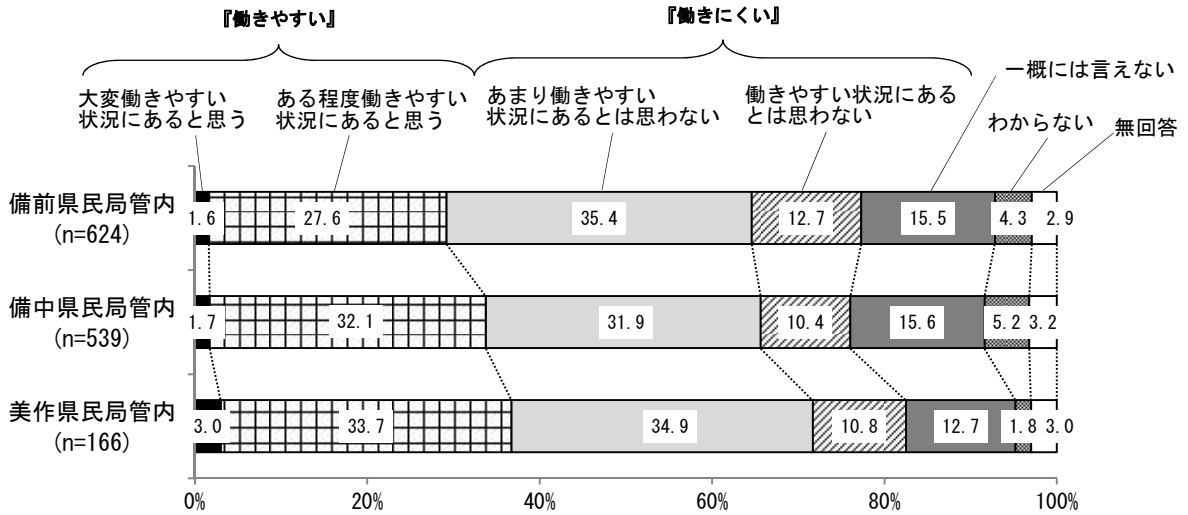
【図表 10-2 女性の就労環境の現状評価（性別、性・年齢別）】



<地域別 1>

『働きやすい』は美作県民局管内（36.7%）、『働きにくい』は備前県民局管内（48.1%）が最も高くなっている。

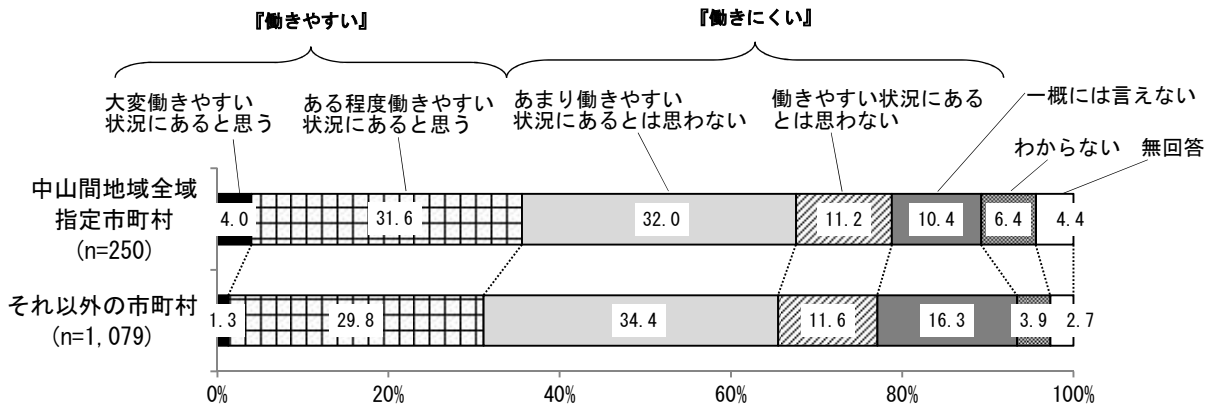
【図表 10-3 女性の就労環境の現状評価（地域別 1）】



<地域別 2>

いずれの地域でも、『働きやすい』は3割を、『働きにくい』は4割を超えており、大きな差はみられない。

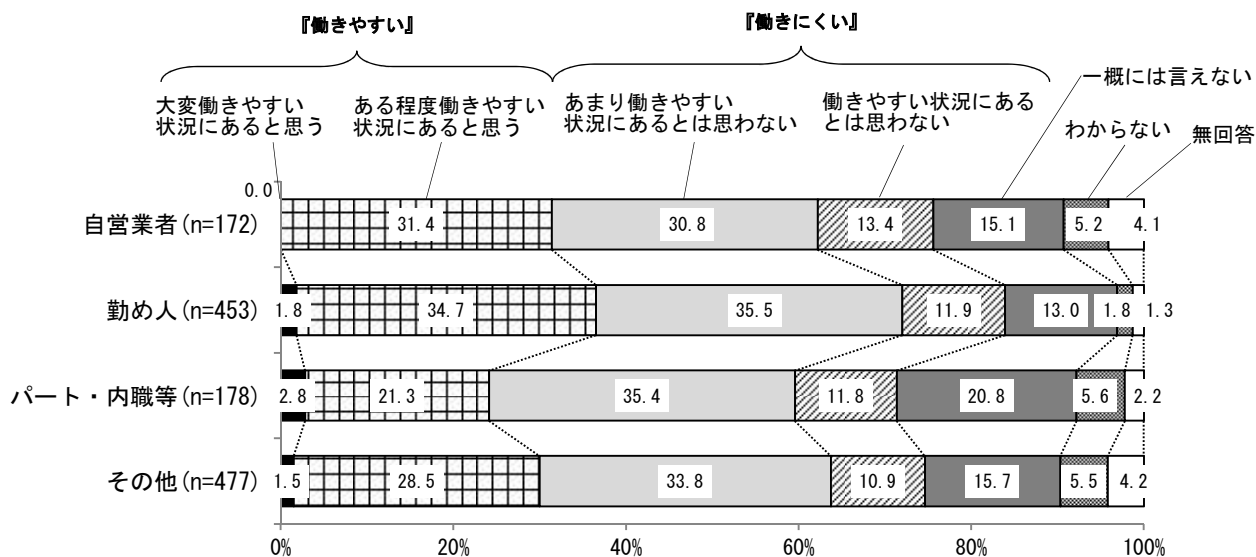
【図表 10-4 女性の就労環境の現状評価（地域別 2）】



<職種別>

職種別にみると、『働きやすい』は「パート・内職等」が24.1%と最も低くなっている。

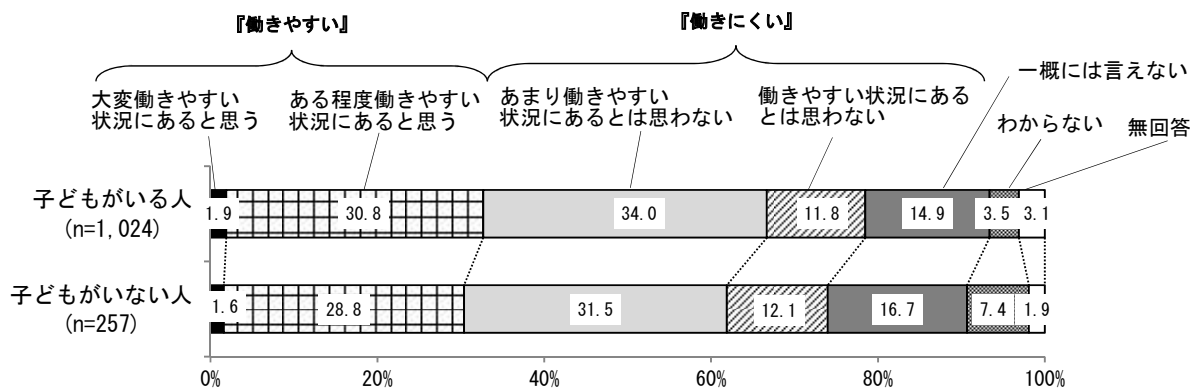
【図表 10-5 女性の就労環境の現状評価（職種別）】



<子どもの有無別>

『働きにくい』は子どもがいる、いないに関わらず、4割を超えており、大きな差はみられない。

【図表 10-6 女性の就労環境の現状評価（子どもの有無別）】

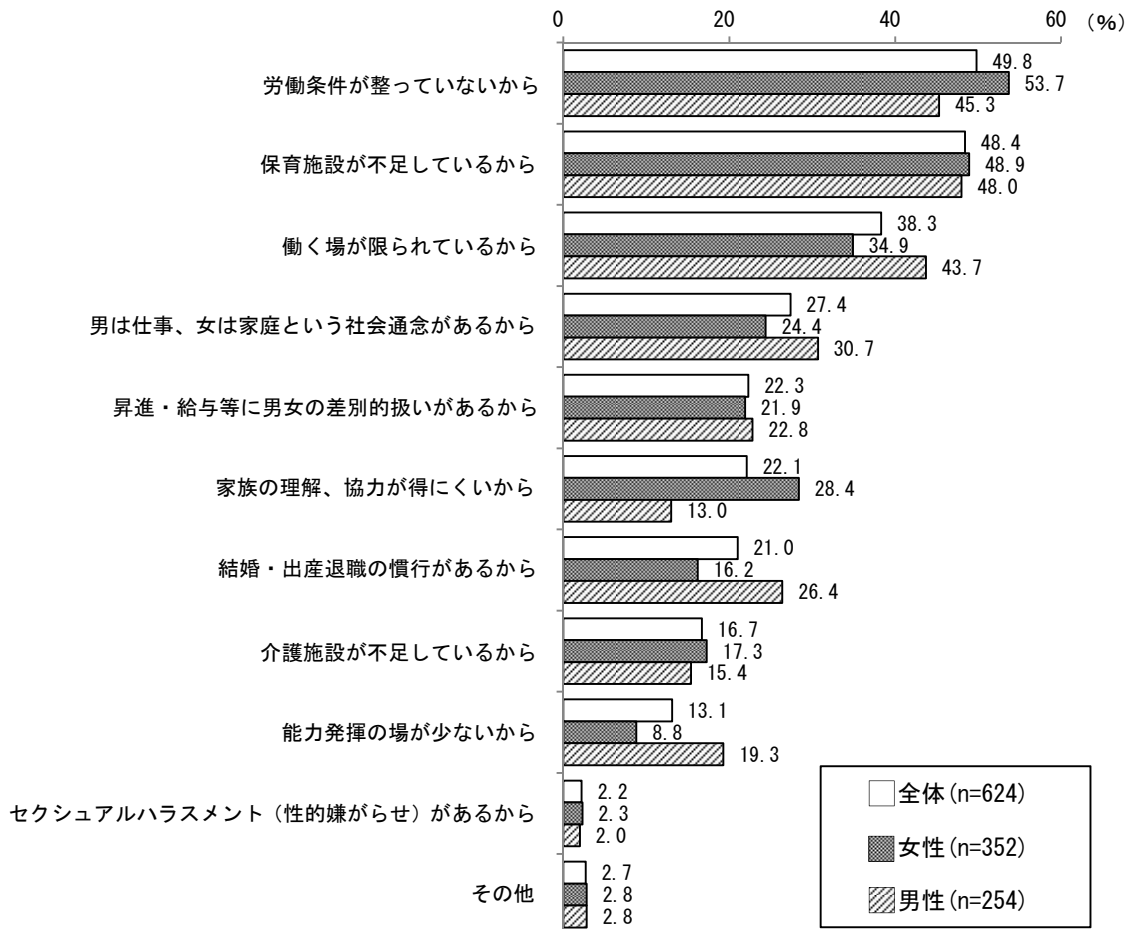


(4) 女性が働きにくい理由

問10で、3または4と答えた方のみお答えください。

問11 そう思わない理由は何ですか。(○印は3つまで)

【図表 11-1 女性が働きにくい理由】



◆「労働条件が整っていないから」が5割程度で最高

女性が働きにくい理由について、「労働条件が整っていないから」が49.8%と最も高く、次いで「保育施設が不足しているから」(48.4%)、「働く場が限られているから」(38.3%)などの順となっている。

性別にみると、女性は「労働条件が整っていないから」(53.7%)、男性は「保育施設が不足しているから」(48.0%)が最も高くなっている。

<性・年齢別>

女性は、60歳以上を除いて「労働条件が整っていないから」が最も高く、次いで「保育施設が不足しているから」の順となっている。男性は、40代を除いて「保育施設が不足しているから」が最も高く、「働く場が限られているから」、「働く場が限られているから」も上位にあがっている。

【図表 11-2 女性が働きにくい理由（性・年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20代	労働条件が整っていないから	69.6	保育施設が不足しているから	60.9	男は仕事、女は家庭という社会通念があるから	43.5
	30代	労働条件が整っていないから	56.1	保育施設が不足しているから	50.9	働く場が限られているから	31.6
	40代	労働条件が整っていないから	56.8	保育施設が不足しているから	48.6	家族の理解、協力が得にくいから	33.8
	50代	労働条件が整っていないから	52.8	保育施設が不足しているから	41.7	働く場が限られているから 家族の理解、協力が得にくいから	36.1
	60歳以上	保育施設が不足しているから	51.3	労働条件が整っていないから	48.7	働く場が限られているから	36.1
男性	20代	保育施設が不足しているから	60.0	結婚・出産退職の慣行があるから	40.0	労働条件が整っていないから	33.3
	30代	保育施設が不足しているから	62.5	働く場が限られているから 労働条件が整っていないから			54.2
	40代	働く場が限られているから	53.5	労働条件が整っていないから	51.2	保育施設が不足しているから	37.2
	50代	保育施設が不足しているから	49.0	働く場が限られているから	43.1	労働条件が整っていないから	41.2
	60歳以上	保育施設が不足しているから	47.3	労働条件が整っていないから	45.5	働く場が限られているから	40.9

<地域別 1>

備前県民局管内は「保育施設が不足しているから」、備中県民局管内、美作県民局管内は「労働条件が整っていないから」が最も高くなっている。美作県民局管内は「働く場が限られているから」が2位にあがっている。

【図表 11-3 女性が働きにくい理由（地域別 1）】

(単位:%)

	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	保育施設が不足しているから	51.8	労働条件が整っていないから	50.7	労働条件が整っていないから	52.6
2位	労働条件が整っていないから	49.2	保育施設が不足しているから	47.6	働く場が限られているから	43.4
3位	働く場が限られているから	36.8	働く場が限られているから	37.0	保育施設が不足しているから	40.8

<地域別 2>

いずれの地域も、「労働条件が整っていないから」が最も高く、次いで「保育施設が不足しているから」、「働く場が限られているから」の順となっている。

【図表 11-4 女性が働きにくい理由（地域別 2）】

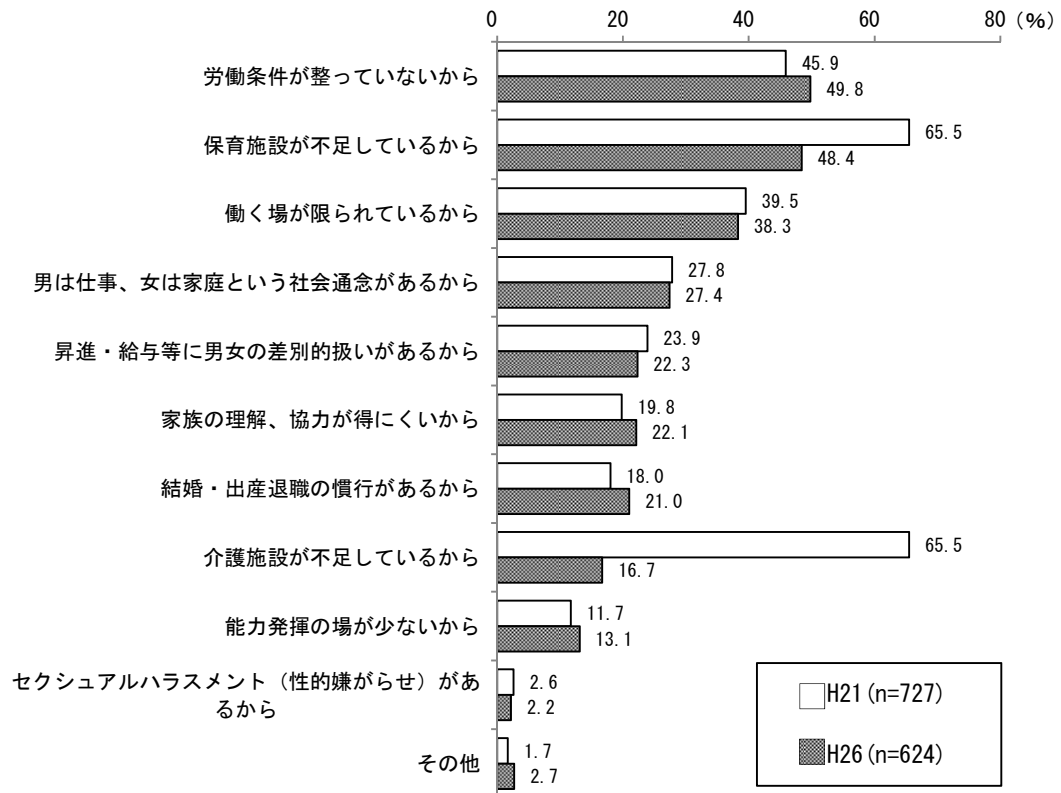
(単位:%)

	中山間地域全域指定市町村		それ以外の市町村	
1位	労働条件が整っていないから	50.5	労働条件が整っていないから	50.1
2位	保育施設が不足しているから	43.9	保育施設が不足しているから	49.9
3位	働く場が限られているから	38.3	働く場が限られているから	37.6

＜前回調査との比較＞

H21年調査と比べると、選択肢の内容に変化のあった「保育施設が不足しているから」、「介護施設が不足しているから」（※平成21年度は「保育施設や介護のための施設が不足しているから」との選択肢）を除くと、大きな変化はみられない。

【図表 11-5 女性が働きにくい理由（前回調査との比較）】



※平成21年度は「保育施設や介護のための施設が不足しているから」との選択肢